

平成 17 年度 内分泌かく乱化学物質環境調査結果について

県内の主要 7 河川の水質において、環境ホルモンの環境実態調査を実施しました。

その結果、6 物質が検出されました。(下表)

今回の調査結果は、全国のこれまでの調査結果の範囲内にありました。

単 位：μg/L

検 出 物 質	大聖寺川	動橋川	犀 川	浅野川	羽咋川	御被川	河原田川	検 出 下 限 値	主 な 用 途
ノニルフェノール	0.34	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	界面活性剤の原料
4-t-オクチルフェノール	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	
ビスフェノールA	ND	ND	0.05	0.02	ND	0.04	ND	0.01	樹脂の原料
2,4-ジクロロフェノール	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	染料中間体
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.3	プラスチックの可塑剤
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	樹脂の可塑剤、合成潤滑剤の原料
ベンゾフェノン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	医薬品の合成原料、保香剤等

注) ND は、検出下限値未満である

担当
石川県環境部環境政策課
TEL 076-225-1463